

令和5年度

富山県東部消防組合一般会計
決算審査意見書

富山県東部消防組合監査委員

令和6年7月12日

富山県東部消防組合
管理者 村椿 晃 様

富山県東部消防組合

監査委員 石田 守

監査委員 前原 英石

令和5年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項及び第292条の規定により、審査に付された令和5年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類について審査したので、その結果について意見を提出します。

令和5年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見

1 審査の対象

(1) 歳入歳出決算書

令和5年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算書

(2) 付属書類

令和5年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書

令和5年度 富山県東部消防組合一般会計実質収支に関する調書

令和5年度 富山県東部消防組合一般会計財産に関する調書

2 審査の期日と場所

期日 令和6年7月11日

場所 富山県東部消防組合消防本部 2階会議室

3 審査の方法

審査は、令和5年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、収支月計表、現金出納簿並びに関係諸帳簿、証書類について照合を行うとともに関係職員の説明を聴取して、計数の正確性、予算執行の適正性、収入支出の合法性及び執行内容の妥当性について審査した。

4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び付属書類等は、いずれも関係法令に準拠して作成され、その計数は関係諸帳簿と符合し正確であり、また、決算内容、予算執行状況についても適正であると認められた。

財産に関する調書と事務局及び各施設で保管する台帳等関係書類とを照合した結果、財産の管理状況は良好であると認められた。

なお、審査結果の概要と意見は、以下のとおりである。

5 決算の概要

令和5年度の一般会計の決算額は、予算総額1,380,471,000円に対し、歳入決算額1,376,846,132円(予算対比99.7%)、歳出決算額1,313,791,815円(予算対比95.2%)であり、差引形式収支額は63,054,317円である。前年度決算額と比較して歳入で15,266,732円の減、歳出で39,507,819円の減となっている。

この結果、歳入歳出差引残額は63,054,317円となり、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支63,054,317円の黒字となっている。

なお、当年度実質収支63,054,317円から前年度実質収支38,813,230円を差し引いた当年度の単年度収支は24,241,087円の黒字となっている。

決 算 収 支 状 況

(単位:円)

年 度	会 計	歳入 A	歳出 B	差引残額 C(A-B)	翌年度へ 繰越すべ き財源 D	実質収支 E(C-D)	前年度 実質収支 F	単年度 収支 G(E-F)
5	一般	1,376,846,132	1,313,791,815	63,054,317	0	63,054,317	38,813,230	24,241,087
	計	1,376,846,132	1,313,791,815	63,054,317	0	63,054,317	38,813,230	24,241,087
4	一般	1,392,112,864	1,353,299,634	38,813,230	0	38,813,230	61,461,301	△22,648,071
	計	1,392,112,864	1,353,299,634	38,813,230	0	38,813,230	61,461,301	△22,648,071
増	一般	△15,266,732	△39,507,819	24,241,087	0	24,241,087	△22,648,071	44,889,158
減	計	△15,266,732	△39,507,819	24,241,087	0	24,241,087	△22,648,071	44,889,158

なお、令和5年度における主要事業は下記のとおりである。

事業名	事業の内容
インボイス制度に伴う財務会計システム改修	令和5年10月に「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」が導入されたことに伴い、現行の納付書に「登録番号」、「適用税率」及び「税率ごとに区分した消費税額等」を記載するためのシステム改修を実施した。
消防庁舎照明器具LED化改修事業(3ヵ年計画)	脱炭素化推進事業債を活用し、3年計画で全庁舎のLED化を計画的に実施する予定であり、今年度は消防本部の事務室、会議室及び2階廊下をLED照明に交換した。
ドローン資格者育成事業	令和6年度に導入する消防総合管理システム整備事業の一環としてドローンを購入する予定である。その操作資格者を2年計画で育成することとしており、今年度は、4名が資格を取得した。
消防総合管理システム整備事業実施設計委託	令和6年度に導入する消防総合管理システム整備事業の実施設計を委託した。

6 一般会計

令和5年度の一般会計決算額は、次のとおりである。

歳入決算額 1,376,846,132 円（予算対比 99.7%）

歳出決算額 1,313,791,815 円（予算対比 95.2%）

この差引残額（形式収支）63,054,317円から、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支 63,054,317円の黒字となっている。

当年度実質収支 63,054,317 円から前年度実質収支 38,813,230円を差し引いた当年度の単年度収支は 24,241,087円の黒字となっている。

(1) 歳入

歳入決算状況は、次のとおりとなっている。

（単位：円）

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
5年度	1,380,471,000	1,376,846,132	1,376,846,132	0	0	99.7%	100.0%
4年度	1,389,931,000	1,392,112,864	1,392,112,864	0	0	100.2%	100.0%

① 収入状況

予算額に対する収入割合は99.7%であり、前年度収入済額と比較して15,266,732円の減となっている。

収入の内訳は、分担金及び負担金で、収入額は1,252,287,000 円で全体の91.0%を占めている。以下、組合債が73,500,000円で5.3%、繰越金が38,813,230円で2.8%、県支出金が7,154,000円で0.5%、国庫支出金が2,502,416円で0.2%、使用料及び手数料が2,182,700円で0.2%となっている。

また、調定額に対する収入割合は100.0%で、収入未済額は0円となっている。

収入状況は、次の表のとおりである。

収 入 状 況

（単位：円）

区 分	予算額	調定額	収 入 済 額				不納 欠損 額	収入 未済 額
			金 額	構 成 比 (%)	予算対 比(%)	調定対 比(%)		
1. 分担金及び負担金	1,252,287,000	1,252,287,000	1,252,287,000	91.0	100.0	100.0	0	0
2. 使用料及び手数料	1,312,000	2,182,700	2,182,700	0.2	166.4	100.0	0	0
3. 県支出金	7,321,000	7,154,000	7,154,000	0.5	97.7	100.0	0	0
4. 繰越金	38,812,000	38,813,230	38,813,230	2.8	100.0	100.0	0	0
5. 諸収入	139,000	406,786	406,786	0.0	292.7	100.0	0	0
6. 組合債	80,600,000	73,500,000	73,500,000	5.3	91.2	100.0	0	0
7. 国庫支出金	0	2,502,416	2,502,416	0.2	0.0	100.0	0	0
計	1,380,471,000	1,376,846,132	1,376,846,132	100.0	99.7	100.0	0	0

② 財源構成

歳入総額を使用料及び手数料、繰越金、諸収入からなる自主財源と、分担金及び負担金、県支出金からなる依存財源に分類してみると、自主財源は41,402,716円、依存財源は1,335,443,416円となっており、その構成比は、自主財源3.0%、依存財源97.0%となっている。

また、財源構成を一般財源と特定財源に分類してみると、その構成比は、一般財源93.8%、特定財源6.2%となっている。

第1款 分担金及び負担金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額対比	調定額対比
5年度	1,252,287,000	1,252,287,000	1,252,287,000	0	0	100.0%	100.0%
4年度	1,221,328,000	1,221,328,000	1,221,328,000	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は1,252,287,000円で、歳入総額に占める割合は全体の91.0%となっており、収入済額の内訳は、組合構成市町村からの組合運営費負担金で、魚津市546,624,000円、滑川市371,275,000円、上市町280,695,000円、舟橋村53,693,000円となっている。

第2款 使用料及び手数料

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額対比	調定額対比
5年度	1,312,000	2,182,700	2,182,700	0	0	166.4%	100.0%
4年度	1,312,000	2,597,850	2,597,850	0	0	198.0%	100.0%

収入済額は2,182,700円で、歳入総額に占める割合は全体の0.2%となっており、収入済額の内訳は、危険物施設設置許可検査手数料等で魚津市分730,400円、滑川市分980,350円、上市町分470,750円、防火管理講習修了証再交付手数料1,200円となっている。

第3款 県支出金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額対比	調定額対比
5年度	7,321,000	7,154,000	7,154,000	0	0	97.7%	100.0%
4年度	19,935,000	20,755,050	20,755,050	0	0	104.1%	100.0%

収入済額は7,154,000円で、歳入総額に占める割合は全体の0.5%となっており、収入済額の内訳は、組合より富山県防災航空センターの消防防災航空隊員に派遣している人件費負担金6,033,000円と職員派遣に係る県からの補助金1,121,000円となっている。

第4款 繰越金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
5年度	38,812,000	38,813,230	38,813,230	0	0	100.0%	100.0%
4年度	109,552,000	109,553,301	109,553,301	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は38,813,230円で、歳入総額に占める割合は全体の2.8%となっており、収入済額の内訳は、前年度繰越金となっている。

第5款 諸収入

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算 額対比	調定額 対比
5年度	139,000	406,786	406,786	0	0	292.7%	100.0%
4年度	198,000	272,663	272,663	0	0	137.7%	100.0%

収入済額は406,786円で、歳入総額に占める割合は全体の0.03%となっており、収入済額の内訳は、保険事務手数料105,008円、行政文書開示費用8,260円、自動販売機設置電気料金73,725円、気象観測謝礼50,120円、預金利息1,993円、雇用保険本人負担41,168円、その他126,512円となっている。

第6款 組合債

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算 額対比	調定額 対比
5年度	80,600,000	73,500,000	73,500,000	0	0	91.2%	0.0%
4年度	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%

収入済額は73,500,000円で、歳入総額に占める割合は全体の5.3%となっており、収入済額の内訳は、緊急防災・減災事業債72,000,000円、脱炭素化推進事業債1,500,000円となっている。

第7款 国庫支出金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算 額対比	調定額 対比
5年度	0	2,502,416	2,502,416	0	0	0.0%	100.0%
4年度	37,606,000	37,606,000	37,606,000	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は2,502,416円で、歳入総額に占める割合は全体の0.2%となっており、収入済額の内訳は、令和6年能登半島地震での緊急消防援助隊の活動に係る国からの負担金2,502,416円となっている。

(2) 歳出

歳出決算状況は、次のとおりとなっている。

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
5年度	1,380,471,000	1,313,791,815	0	66,679,185	95.2%
4年度	1,389,931,000	1,353,299,634	0	36,631,366	97.4%

① 支出状況

予算額に対する執行率は95.2%であり、前年度支出済額と比較して39,507,819円の減となっている。

イ 支出の内訳

議会費815,442円、組合運営費134,940円、監査委員費44,000円、職員給与費905,560,134円、消防本部運営費140,809,521円、魚津署運営費4,546,755円、滑川署運営費1,286,475円、上市署運営費1,405,805円、舟橋分遣所運営費624,620円、消防本部施設整備費77,569,112円、起債償還元金139,714,000円、起債償還利子2,470,498円、諸支出金38,810,513円である。

支出状況は、次の表のとおりである

支 出 状 況

(単位：円)

区 分	予算額	支 出 済 額			翌年度繰越額	不用額
		金 額	構成比 (%)	執行率 (%)		
1. 議会費	943,000	815,442	0.1%	86.5%	0	127,558
2. 総務費	350,000	178,940	0.0%	51.1%	0	171,060
3. 消防費	1,197,181,502	1,131,802,422	86.1%	94.5%	0	65,379,080
4. 公債費	142,184,498	142,184,498	10.8%	100.0%	0	0
5. 予備費	1,000,000	0	0.0%	0.0%	0	1,000,000
6. 諸支出金	38,812,000	38,810,513	3.0%	100.0%	0	1,487
計	1,380,471,000	1,313,791,815	100.0%	95.2%	0	66,679,185

ロ 性質別の内訳

義務的経費では、人件費で894,482千円(68.1%)、物件費で213,998千円(16.3%)、維持補修費で928千円(0.1%)、扶助費で13,175千円(1.0%)、補助費等で47,308千円(3.6%)、公債費で142,185千円(10.8%)、投資的経費で1,716千円、義務的経費全体では1,313,792千円となり、決算総額の100.0%を占めている。

性質別経費の状況

(単位：千円)

区 分	5年度決算額	構成比
1 人件費	894,482	68.1%
2 物件費	213,998	16.3%
3 維持補修費	928	0.1%
4 扶助費	13,175	1.0%
5 補助費等	47,308	3.6%
6 公債費	142,185	10.8%
うち元金	139,714	10.6%
うち利子	2,471	0.2%
計	1,312,076	99.9%
7 投資的経費	1,716	0.1%
普通建設事業	1,716	0.1%
うち単独事業	1,716	0.1%
歳出合計	1,313,792	100.0%

第1款 議会費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
5年度	943,000	815,442	0	127,558	86.5%
4年度	913,000	873,258	0	39,742	95.6%

支出済額は815,442円で、歳出総額に占める割合は全体の0.1%となっている。

不用額は127,558円で、予算額に対する執行率は86.5%となっている。

第2款 総務費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
5年度	350,000	178,940	0	171,060	51.1%
4年度	346,000	184,814	0	161,186	53.4%

支出済額は178,940円で、歳出総額に占める割合は全体の0.0%となっており、支出済額の内訳は、組合運営費134,940円、監査委員費44,000円となっている。

不用額は171,060円で、予算額に対する執行率は51.1%となっている。

第3款 消防費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
5年度	1,197,181,502	1,131,802,422	0	65,379,080	94.5%
4年度	1,190,338,000	1,155,035,964	0	35,302,036	97.0%

支出済額は1,131,802,422円で、歳出総額に占める割合は全体の86.1%となっており、支出済額の内訳は、職員給与費905,560,134円、消防本部運営費140,809,521円、魚津署運営費4,546,755円、滑川署運営費1,286,475円、上市署運営費1,405,805円、舟橋分遣所運営費624,620円、消防本部施設整備費77,569,112円となっている。

不用額は65,379,080円で、予算額に対する執行率は94.5%となっている。

第4款 公債費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
5年度	142,184,498	142,184,498	0	0	100.0%
4年度	138,175,000	138,046,598	0	128,402	99.9%

支出済額は142,184,498円で、歳出総額に占める割合は全体の10.8%となっており、支出済額の内訳は、起債償還元金139,714,000円、起債償還利子2,470,498円である。

不用額は0円で、予算額に対する執行率は100.0%となっている。

なお、令和6年3月末現在で、起債償還残高は元金で384,976千円となっている。

第5款 予備費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
5年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0%
4年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0%

令和5年度において予備費の執行は無かったため、不用額1,000,000円、執行率0.0%となっている。

第6款 諸支出金

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
5年度	38,812,000	38,810,513	0	1,487	100.0%
4年度	59,159,000	59,159,000	0	0	100.0%

前年度からの繰越金を構成市町村へ返還金として返還したため、執行率100.0%となっている。

7 財産管理

(1) 土地について（令和5年度中の異動なし）

(2) 建物について（令和5年度中の異動なし）

本部通信指令センター 延床面積579.01㎡

上市消防署舟橋分遣所 延床面積273.04㎡

天神山基地局 延床面積 5.85㎡

(3) 物品について（令和5年度中に取得した1件10万円以上）

	区 分	数 量
消防本部	半自動除細動器（ZOLL AED Pro）	1
	魚津消防署用 50mmホース	7
	滑川消防署用 50mmホース（6）、65mmホース（2）	8
	上市署用 50mmホース（6）、65mmホース（2）	8
	舟橋分遣所用 50mmホース	1
	本部潜水隊用潜水資器材一式	2
	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型	1
	無人航空機（練習用ドローン）	1
	緊急消防援助隊用資器材棚シートカバー	1
	緊急消防援助隊用コンテナシートカバー	2

8 意見

全体として、予算の執行は適正であると認められるが、一部において、予算に対し、不用額の多いものが見受けられる。様々な要因があるとは思いますが、予算を適切に計上し、その事業目的が最大限に生かされるよう執行されたい。

なお、消防組合については、構成市町村の運営費負担金により運営費が賄われているところであるが、各々の自治体においても財政状況が厳しい折、より一層の節減に努められたい。

また、契約事務については、入札・随意契約によるものを問わず、適正かつ厳正に実施し、地域住民の疑惑を招くことのないよう対応されたい。

9 むすび

以上、令和5年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算審査についてその概要と意見を述べた。

審査に付された歳入歳出決算書及び付属書類等はいずれも関係法令に準拠して作成され、決算内容、予算執行状況についても適正に処理されていた。

本部各署においては、消防広域化のメリットを十分に生かし、合理的かつ効率的な予算執行となるよう努められたい。

消防は、消火や救急、救助活動はもとより、近年、激甚化・頻発化する自然災害などの発生場所において緊急消防援助隊として活動するなど、その重要性が改めて認識されているところである。地域住民の安全・安心と生命・財産を守るべく、社会使命を果たされるよう、引き続き消防救急及び防災力体制の充実強化に努められたい。